



ガーナに孤児の家を



入居予定の孤児たち

ガーナ国ワにも、孤児は多く、首都アクラが2015年に水害があつてから訪問したかった地です。昆虫少年であつたわが身には、目を奪われる珍しい生き物が多く、永住したくなる辺境地です。カバ、ワニは動物園で見ますけれど、檻の中にはなく生息しています。夜、野宿しますと、コブラが出てきます。

サバイバルに訪問したのではなく、孤児を探しに来ました。まずごつたがえすワの中心地に訪問し、学校に行かず、モノを売っている子どもを探します。5時間は歩きます。何も飲まず、食わずです。その方が笑顔と身ぶりだけで仲良くなります。孤児たちが寝泊まりするところまで案内してもらいます。当初、5人の予定が9人になってしまいました。

孤児たちが大人になるまで共同生活で食事などをボランティアしてく

ださるアムシエトゥさん(48歳の未婚人)が名乗り出てくださいました。建造も土地所有者から了解をとりつけることもできました。

新しく建つ孤児養護施設の責任者サリフ・マハマ&クルス・ジブリルご夫妻のご協力がなければ実現にはいたりません。



ガーナ国ワに建設途上 2019年10月時点

目下、年末までの完成を目指して、建造中です。日本からのみなさまの応援が必要です。残り約70万円の募金によって達成できます。ご支縁ください。

郵便振替

口座00900018158077

加入者名 一般社団法人神戸国際支縁機構
空白にガーナと記入ください

インドネシア国パルの第1号の孤児の家

2018年9月28日18時2分43秒 M7.5 スラウェシ島 (Sulawesi island) パル (Palu) を地震、津波、流体化が襲いました。死者、行方不

明者、被災家は阪神・淡路大震災を上回ります。3日後の10月1日、神戸国際支縁機構の理事長岩村義雄がパル市で見た光景は地獄絵図でした。

災害救助、応急手当、傾聴ボランティアをしている最中、パル市住人のリンボキ氏に出会いました。ご家族の協力もあり、パル市に孤児の家が建造されることになりました。日本各地からの義援金が惜しみなく与えられました。神戸市マラソン委員会からも寄附が寄せられ、感謝申し上げます。

おかげをもちまして津波発生から一年の9月12日に、開所式にこぎつけました。日本から、また神戸国際支縁機構のネパール支部責任者のハリ・マハラジャン夫妻も招かれました。

「カヨコ・チルドレン・ホーム」の専従医師オフィ女医もたちもオープニング・セレモニーを喜び合いました。地元紙なども第一面に機構海外支縁のはたらきを報道しました。



『ラダー スルテン紙』(2019年9月14日付)

ヤマザキ
世界のパン
ヤマザキ

Otsuka
株式会社 大塚製薬工場
〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151(代表)

MiYOSHi
ミヨシ石鹸株式会社
〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

災害大国の日本ではたらき 第4次千葉災害ボランティア

事務局長 本田 寿久

2019年9月9日、佐賀県などを襲った記録的大雨(8月27日から)にボランティア訪問して、間を置かず、千葉県などに台風15号が襲いました。神戸から千葉県の最南端南房総市などに4回にわたり、救援活動を行ってきました。フクシマ県、宮城県、長野県も同時進行になりました。

佐賀ボランティア

2019年8月27日6時24分に佐賀県などに警報が出ました。田中幸輝さん(第44次参加 佐賀大学出身)も連絡をくださいました。

大規模水害による六角川の

浸水は6日を経てもひどい惨状です。武雄市の大町町は全体がほとんどが冠水しました。さらに追い打ちをかけるように、佐賀鉄工所の大町工場から流れ出た焼入れ油の被害を受けています。冷却用のクエンチオイルです。人体の健康に直接的な害はありませんが、付着した農作物は収穫できません。佐賀新聞によると、約5万リットル流出しています。大町には吸着マットがいたるところで見受けられます。水害被害は武雄市の朝日町、北方町、江北町など広範囲に及んでいます。

大町町下湯の千綿盛彦区長(73歳)は、聡明な方で、被災状況、復旧、復興について地域でも信頼されています。ご自身の家の給湯、室外機



千綿盛彦さん(73歳)

は損なわれていても、地域の人たちのために東奔西走なさっておられました。1990年の水害の規模の二倍以上であることを示されました。孤立した順天堂病院付近は天井近くまで浸水したとおっしゃいました。

千葉災害ボランティア

7人は神戸国際支縁機構の本部を2台で出発しました。まず千葉停電ボランティアに取り組みうと向かいます。東京都墨田区にあるミヨシ石鹼三木晴雄会長を訪問しました。9人は、千葉市の在日朝鮮人の被災に仕えました。

南房総の館山市布良や、鋸南町の竜島海岸、市原市などを訪問しました。千葉県布良も限界集落です。



『朝鮮新報』(2019年9月25日付)

2019年は、佐賀水害、千葉水害を通じて、ボランティアと行政の社会福祉協議会(ボランティア・センター)の棲み分けの転換点の年とすることを提言します。



『キリスト新聞』(2019年10月21日付)

なぜなら断水などライフラインの復旧、復興、再建は行政の方がはるかにすぐれて

おられるからです。被災地への交通費の申請は民間が手配する方が願わしいです。行政は申請主義に重きを置き、特定の個人を優先しないという公平性を重要視してきました。細目にわたるマニュアル通りに救助体制を、協議し、告知し、実施してきました。いわゆる被災者を管理してきたわけですが。それでは佐賀や千葉、今後の自然災害の範囲が広い場合、申請しない、できない、知らない被災者に手厚くサービスを提供することは不可能です。目の前で、困っている被災者が申請しないとすれば、面倒を見なくても行政は責任を問われることはありませんでした。無責任のそりを受けてもしょうがありません。テレビ、メディアなどで騒ぎ立てられてから動くのでは遅いのです。救済の申告ができないハンディキャップ、在日外国人、高齢の方たちのためには、一般のボランティアの方が自分たちから出向いて行って、希望を聞くことができます。万人に行き届くためには民間ボランティアを管理することをやめて、民間のボランティア・センターを支えるように変換すべきです。



館山市立小中一貫校房南学園避難所にて 2019年10月12日



19号進路について 富崎台風研究会 2019年10月30日

31年ぶり、ゼロから翻訳した新しい聖書

『聖書 聖書協会共同訳』
—2018年12月発行—

全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会



GAUFRES®
ゴーフル

いいものは時代をこえて生き続けます。

ゴーフルは神戸風月堂の登録商標です。425008号



神戸風月堂

URL http://www.kobe-fugetsudo.co.jp



「ヒューマンティ・ファスト」
日本アハマディア・ムスリム協会



夢に近づく
夢を産み出す...

近畿産業信用組合

総合コールセンター

0120-111-019

第100次~102次東北ボランティア

代表 村上 裕隆

2019年9月18日(水)

午前10時半から11時半に、石巻市際前620番地の際前で4畝を刈り取りました。田んぼの所有者 亀山繁氏(68歳)です。毎年、寛大に機構に使用を許可してくださっています。園児たちは、農機コンバインを使わずに、ノコカマを用いて、手で刈り取ります。

昔ながらの農法です。阿部世奈(せな5歳)さんは「サクッとイネの束を切れて気持ちよかった」と喜んでいました。収穫したコメはすぐに「稲架掛け」をし、天日干しをします。日光により、おいしいコメになります。全量を収穫祭でおにぎりにして地域の方たちに召し上がっていただきます。

台風19号は宮城県石巻市渡波に再度冠水をもたらしました。10月12日午後6時44分に最大瞬間風速34・2メートル。台風19号による月間降水量の2倍以上となる247ミリ。倒木も相次いでいました。

三連休の書き入れ時に石巻市の商店街も休業。店内が浸水していました。

季刊誌「支縁」の連載執筆の阿部和夫先生を訪問。先輩の宮城県丸森町の安否がわからないとのことで、私たちに委ねられ、丸森町で斎藤良治元教育長にお会いしました。

74名の児童が犠牲になった石巻市立大川小学校の訴訟で最高裁は賠償を石巻市と宮城県に通達。20億円の支払いが石巻市に財政破綻もたらす巨額な金額であり、「財政調整基金」という貯金は実質的には同額ほどしかなく、学校の統廃合に拍車をかけることになるのではと予想します。つまり過疎、高齢化、少子化の悪循環にブレーキをかけられないこととなります。



『石巻日日新聞』(2019年9月19日付)



『杜鹿新聞』(2019年10月4日付)

今回は台風19号などにより、2度の延期でした。宮城県石巻市渡波の長浜幼稚園の休園や、水田の冠水が東日本大震災以降、排水機能が改善されていないため、やむを得ませんでした。そこで台風19号による他の被災地域宮城県丸森町、福島県いわき市平などを訪問させていただきました。

トロトロ層、田植、稲刈り、天日干しをしてきた園児たちは脱穀に挑戦しました。さいわいにして第101次で倒れて田んぼに浸かっていたのを起こす稲架掛けを地元協力もあって、黄金の稲穂は、パチパチと茎から離れていきます。

63名の年長組は生まれてはじめて脱穀に歓声を上げました。亀山繁氏や、稲架掛けを手伝った保原政美氏、鯉のぼりの真竹提供や脱穀機を管理してくださる津田新一氏、初すりの佐島みさえさんなど渡波のみなさんの協力あればこそ8回も継続できています。

『石巻日日新聞』(2019年11月2日付)
『杜鹿新聞』(2019年10月25日付)

『石巻若宮丸物語』⑧

阿部 和夫

プロフィール

1938年宮城県石巻市生。石巻小学校校長1999年退職。石巻市教育委員会教育長(1999~2008)。

サントペルフルクでの見聞

皇帝の前で自分の意思表示をした一行は、宮殿を出ると、思いがけない光景をみるようになります。気球を上げる興行がフランスから来て行われていたのです。皇帝は、漂流民一行にそれを見せようと、謁見の日取りをそこに合わせてくれたのでした。直径6m程の気球にかが付けられ二人が乗って空に上がるのを見た一行は驚きました。恐らく気球を見た最初の日本人だったと思います。

日本に向かう船が出帆するのは、二週間程後でした。その間、漂流民達はいろいろな場所や施設等を見学させて貰いました。

それは、漂流民にとって驚きの連続でした。歴代皇帝の墓所や寺院、クンストカメラ(ピョートル大帝の創設による学術美術品の陳列館)でガラス瓶に入った胎児に度肝を抜かれ、話して聞くだけだった象の骨格標本を見て恐ろしさを感じています。プラネタリウムを見学し、春夏秋冬どの季節の星空でもたちまち映し出すといわれて驚きました。

また、劇場にも行きました。三階建ての劇場がどの場所からも舞台がよく見えるように作られているのに驚きました。恐らくオペラを見せて貰ったのでしようが、セリフは、歌の様な節回しで語られ、女の役者の声は、小鳥のさえずりの様だと感想を漏らしています。

遊園地では、「水車を大きくしたような輪に人が乗るかごを取り付け、輪の回転と共に空中にせり上がる遊び道具」即ち観覧車を見て、木戸銭を取らるのに行列が出る程の人数だったと驚いています。養生所(病院)で、身分の上下に関わらず手当をして貰えること、更には捨て子や親のない子どもを集めて養育する孤児院を見て、日本ではとても考えられないことだとしています。

さらに、ここで初めて体験する白夜の季節が、帰国グループと残留グループとが共に過ごす最後の時となります。

様々な未知のものを見聞して驚いた漂流民ですが、彼等が最も感動した場面は、クロンシュタットにある別荘に招かれた時です。別荘の素晴らしさよりも久々に海を見て感激しました。やはり彼等は、海で生きてきた男達だったのです。



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp

(株)吉原金属

神戸市北区道場町塩田2082

芦屋西宮市民法律事務所



津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長

TEL: 0798-68-3161

(有)吉田興業

神戸市兵庫区湊町1-1

「田・山・海」の復活 その十六「食糧安保(安全保障)」にそ日本の生き残る道(1)

海外ボランティアに行く機会が増えると、世界全体に広がっているブームの影響をのみますことはできません。「ヴィーガン veagan」です。菜食主義より徹底して肉食を拒絶します。動機のひとつは動物を殺すことが残虐であるという発想です。動物を平気で殺す行為は、人間を殺すことが良心の痛みを感じずに行うことにつながると主張なさるヴィーガンもおられます。11月3日(日)、ソウル郊外のゴキ教会の礼拝に出席しました。説教をなさったアン牧師は、「10年前に、ブタの屠殺場面の残虐さを見てから、ヴィーガンになった」、と話されました。

欧米の文明は、家畜のために森林を伐採してきました。アマゾンで問題となっている森林伐採は、90%以上が畜産による原因とも言われています⁵³⁾。地球上で最も広い土地を使っているのは畜産です。地球の陸地の約40%が牛を育てるために使われています⁵⁴⁾。

ヴィーガンが良いとか悪いという二元論で物事を考えるのは早計です。卑近な例をあげるならば、自然災害の原因について白黒をはっきりさせることはなかなか困難です。鳥獣害ならば、自然災害は天、二酸化炭素、気象に起因することになります。一方、庶民の虫獣害(地を這う虫の活動)⁵⁵⁾によりますと、里山(=25世期間かけて完成された二次林)の荒廃⁵⁶⁾、農地転用、森林伐採などによる生態系の破壊が自然災害の原因となっています。どちらに責任をかぶせるかの論議より、たいせつな視座があります。農林魚による食糧⁵⁷⁾です。生産する農家、漁師、木こりは廃業に追い込まれそうです。先進国で最低の日本の食糧自給率⁵⁸⁾です。

理事長 岩村義雄

「コメ作りでは生活できん。値段が安くて農協にこうでもらった額から、コンバイン、その燃料代、肥料代、農薬代なんか引きよったら、何にも残らん。まあ、親からの農地やさかい、売らんけど、だれも世話するもんがおらん。二人の息子にしても会社勤めをしとるが、何の利益にもならない田んぼは継いでくれん。農業もワシの代で終わりやな」、と岡山県倉敷市真備町の妹尾厚男さん(86歳)はため息交じりに話されました。模範的な農家も、自然災害には手も足も出ません。

最高級のおコメを産出する佐賀県の北川公文さんは「ダメですね……(収量は)平年に比べ3割から4割くらい減」、と話されました。⁵⁹⁾



オイルで黒ずんだ稲穂
佐々木美和事務局メンバー 2019年9月2日

- 53)「THE WORLD BANK」(セルジオ・マーギュリス 2003年 p.35)。
54)『タイム』誌(主筆ブライアン・ウォルシュ 2013年12月16日号)。
55) 地べたを這いずりまわる虫の視覚を小田実[まこと 1932-2007]は、「我々は虫獣害の自由を持つべきです。そのためには、いい悪いという価値観を入れなくて、まず冷徹な「事実」を把握する。そのうえで思考は自由に。それをできるかどうかが市民に問われていると思う」と。『朝日新聞』(2007年6月25日付)。
56) 季刊誌『支縁』No.9(2014年11月15日4頁)。
57)「食糧」は主要な穀物のことを、「食料」は食べ物全般のこと。
58) 季刊誌『支縁』No.12(2015年11月1日4頁)。
59)「さがびより」は日本穀物検定協会の「米の食味ランキング」において9年連続で最高ランク「特A評価」。「佐賀テレビ」(2019年11月10日15時26分)。

講座などの案内

●本田哲郎セミナー

毎月第3金曜日 午前10時～正午
神戸市勤労会館 404号室

●聖書のことば

毎月最終月曜日 午後6時半～8時
ミント神戸17階 講師：岩村義雄
※12月のみ 12月23日(第4月曜日)
ですからご注意ください。

救援金、維持会費ご協力感谢您。(敬称略)

2019年7月18日～10月21日

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、尾関ユモミ、尾島淳義、藤丸秀浄(法専寺住職)(2)、仙浩二、堀井説子、真木しめ子、白瀬小一郎(2)、忠内一由、忠内有紀、土手朋、土手ゆき子、桜間裕章、安田吉三郎(3)、宮坂信章、春重祺子、中山圭子、高祐二、大槻良文、酒井彰、酒井久美子、池田久美子、石巻地区森林組合、井本敦幸、秋田喜代子、小島千鶴、有限会社吉田興業 吉田明、橋田康裕、久留島 琴、「小さくされた人々のための福音」講座(3)、フイ・ティ・オアン(神戸ベトナム人会会長)、高橋一正(2)、金澤和夫、河村ひとみ、白方誠彌、萩本義郎、武智 務、柴田正生、牛田 匡、山本智恵、高野貴子(2)、藤本英樹(2)、大宮有博、鄭惠姫、村上安世、合同会社 Bless 泉 真姫(3)、KISO 牧場(稲原良三)、東灘バプテスト教会、大槻紀夫、神戸聖福教会、李敬淑(3)、千葉幸一(宮城県石巻市)、大久保和代、松本邦彦、竹内喜子、脇友子(熊本市)、山本次子、阿部純子(宮城県石巻市)、西上千栄子、加藤賢宗(石巻市浄音寺住職)、原浩司、愛徳姉妹会ふるさとの家、ホームチャペル・キリストの花嫁、垂水仏教会、櫻井由里子、廣瀬素子、三木晴雄、藤 玄洋(朝倉市西宗寺住職)、福井重男、福井昌子、日本聖書協会、丹波水害6回目炊き出し、今井頼子、阿部和夫(宮城県石巻市)、匿名。

740,090 円

千葉災害ボランティア&台風19号義援金

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、玉の肌石鯨株式会社、三木晴雄、「小さくされた人々のための福音」講座、白瀬小一郎、土手ゆき子、土手 朋、久留島 琴、石川久子、山下妙子、畠山登美子、日垣敦子、河内常男、守屋香代子、吉川忠利、オリーブの木キリスト教会、廣瀬素子、匿名

2,348,100 円

カヨ子基金(海外支縁)

岩村義雄、尾島淳義、藤丸秀浄(法専寺住職)(2)、仙浩二、堀井説子、真木しめ子、白瀬小一郎、土手 朋、土手ゆき子、桜間裕章、安田吉三郎(3)、春重祺子、高祐二、大槻良文、池田久美子、井本敦幸、秋田喜代子、久留島 琴、高橋一正(2)、河村ひとみ、白方誠彌、牛田 匡、山本智恵、高野貴子、藤本英樹(2)、大宮有博、鄭惠姫、村上安世、合同会社 Bless 泉 真姫(3)、KISO 牧場(稲原良三)、東灘バプテスト教会、大槻紀夫、神戸聖福教会、李敬淑(3)、千葉幸一(宮城県石巻市)、大久保和代、竹内喜子、脇友子(熊本市)、山本次子、阿部純子(宮城県石巻市)、西上千栄子、愛徳姉妹会ふるさとの家、ホームチャペル・キリストの花嫁、櫻井由里子、福井重男、福井昌子、匿名

562,000 円

フードバンク関西、竹内喜子さま、菅原志子さまから切手8,460円分が届いています。久留島 琴さん、河村ひとみさん、耕支縁の岸本豊さん(第11,19次、丹波水害)、上原俊基さん、山本 勝さんたちからタマネギ、なすなどの救済物資に感謝しています。玉の肌石鯨株式会社の三木晴雄会長から千葉災害ボランティアの全面的応援をいただきました。小谷登志江さんから高級鎌を賜りました。

(一社)神戸国際支縁機構

●ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

●被災地への支縁物資もお願いします。

●年会費をお願いします。(月に200円)

会員(年度4月～翌3月)の皆さまには、季刊誌などを送ります。

●海外の孤児のために支縁金をお願いします。

編集後記

第6回目の丹波水害(2014年8月15日～8月18日)炊き出しボランティアに今年は料理長として参加させていただきました。イノシシ肉カレーを10月20日(日)野外礼拝の後、市島町ひなたぼっこで神戸国際支縁機構の8人が調理、提供に取り組みしました。プロパン、コンロ、鍋類を搬入して、秋の実りを楽しむイベントです。毎週の東遊園地(神戸市役所隣)の路上生活者への炊き出しとは異なり、200人分です。19号台風の機構の義援金の箱にも影響したのではと、味の良さに自画自賛しています。来年も依頼されましたので、受給力のある市島の人たちとの「縁」を楽しみにしています。

平澤 久紀

